

○いま、沖縄でおきていること

安倍首相は「沖縄の方々に丁寧に説明する」といつているが、やっていることはまるで逆だ。そういえば3.11 福島原発事故に対しても「福島に寄り添う」と言っていたし、安保法制を強行採決した時も「国民に丁寧に説明する」と言っていた。騙されてはいけない。

島尻安伊子沖縄・北方大臣が参議院選挙で10万6000票の大差で敗北した。これはハッキリと沖縄の民意が基地NOを示したことになる。ちなみに現在沖縄の国会議員6名全員が基地建設反対で、政権与党の自民党、公明党の国会議員はゼロである。

辺野古ぶるー（辺野古新基地建設反対のカヌー隊）のEメール連絡網で「高江N1ゲート前テントは7月20日以降撤去される可能性が高い。都合のつく人は直ちに高江に集合して下さい」が入った。私は急遽沖縄に飛び高江に入った。以下現場からの報告

1. 7月21日は高江のヘリパッド反対抗議集会

14時から約1時間の集会であった。直射日光を浴び33℃の気温と舗装道路からの照り返しの集会は辛かったが集まった人数は1600人と発表があった。集会後「明日の早朝が決戦になる情勢」という情報があり高江に泊まることにした。といってもゲート前テント近くに民家は無い。宿泊する場所は皆無だ。従って、道にダンボールを敷いてごろ寝だった。(〜;))

2. 高江7月21日、警察車両当て逃げ事件

高江の攻防と言っても私たちが攻撃することはない。非暴力の一方的な受け身だ。県道70号線のN1ゲートから北側に100mほどの場所で常識では考えられない出来事があった。

17時30分 突然名護警察署員が「駐車禁止」の看板を持ってきた。それには駐車禁止の場所、日時、警察名など書いていないただの駐禁のマークだけだった。我々はそれを設置に来た担当者（私服の警察官？）に説明を求めた。①急に設置する根拠、②だれの権限で、などを正したが、「署長が言ったから」の一点張り説明が出来なかった。1時間ぐらいて彼は警察の車両（写真）に逃げ込んだ。しばらく、私たち（20名くらい）はその車を取り囲み説明を求め帰さないようしていた。

18時45分 車の前方が手薄になった時、車が急発進し前にいた男性に当たり“ドン”という音がして車が止まった。男性は車の前に倒れ動けなかった（写真）。運転手の警察官は警察車内に籠城、無線で本部と連絡を取り合っていた。私達は車から降りよう要求したが、降りてこなかった。そこに機動隊員が20人ほど来て、まず車の前に倒れている人を4人がかりで手足を持って道の端に排除（この時点で彼は自力で動けない状態）、普通“救急救命法では倒れている人はむやみに動かしてはいけない”となっている。機動隊員はそんなことを知らないわけではない。その後、私たちを強制排除し車の前の道を開けて車を逃がした。



事故で倒れた男性 18時50分

20 時 救急車が来て彼を搬送した。その後、私たち支援者が続々集まり、機動隊を完全に包囲（私たちの数が彼らの倍ぐらいいた）

- 1) 警察車両による当て逃げの現場検証
- 2) 我々の弁護士が来るまで機動隊を開放しない。
- 3) 逃がした機動隊責任者を出すよう要求

現場検証終わるまで機動隊を逃がさないよう現場で抗議集会が行われた。

21 時過ぎ 弁護士到着、同じ頃、名護警察から警察官が現場検証に来たが身内の犯行（当て逃げ）なので私たちに明確な説明なしに帰って行く。

結局私たちは、警察車両を逃がした機動隊の責任者を追及し 24 時近くまで包囲した。どこの国の出来事かって？沖縄の高江です。絶対にありえないことが沖縄で普通に起きている。

3. 高江 7 月 22 日、N1 ゲート前の攻防

早朝 3 時 30 分「機動隊が行動開始した」という合図で叩き起こされた。県道 70 号線は南北に通る片側一車線、歩道無し、道の両側にすぐガードレールがある細い道だ。私達はテントの北側 150m、南側 70m に道一杯に車 167 台をハの字形に並べた。北側に 70 人（写真）、南側に約 60 人が車の間に座り込んだ。夜が明け始めた 5 時ごろから北側に機動隊員 300 人以上、南側に約 200 人が現れた。戒厳令を敷いている軍隊（まるで*琉球処分）だ。6 時前一齐に攻め寄せてきた。私達は非暴力で必至の抵抗を試みるが多勢に無勢徐々に排除される。排除の方法はさまざま、女性だろうと年寄りだろうと、あの革靴で踏みつけ、腕をねじり、手首を関節技で締め上げ、一人に数人がかりで担ぎ上げ容赦しない。排除されても、されてもまた道路に戻り座り込みを続けた。この時、彼らは北側 4km、南側 4km の道路を封鎖していた。（弁護士によれば法律違反だ！ すなわち私たちには早朝から来るはずの援軍はこれない！）6~8 回座り込みを繰り返し抵抗したが、一回毎に南方に追いやられ、結局、圧倒的な力の差で南側のテント近くの一角に押し込められた。この間、南側を守っていたグループの動きは全く分からない。我々のグループにも怪我人が出て道に横たわっている人が数人そんなことは一向に構わずやりたい放題。今回は 3 人も怪我をして救急車で搬送された。1 人（女性）は 2 本のロープで首を絞められ一時意識朦朧、もう一人（女性）はろっ骨が折れ全治 1.5 ヶ月、もう一人（男性）は背骨をいためて動けない。救急車の世話にならなくてもほとんど全員が傷だらけ。そして、直射日光のテント前に集められて数時間、トイレに行きたいと訴える女性になかなか許可を出さず、私たちの抗議で機動隊員がついてトイレ行くことを許可、南側では道脇の藪でするように指示され、やむなく女性が（ハブがいる藪で）用を足した。



近くにいる男性が「機動隊の諸君、向こうを向いていなさい」と大声で怒鳴った。←これはその男性の証言で沖縄出身の赤嶺国会議員との懇談会で明らかになった。

しかし、機動隊員は1時間交代で涼しいかまぼこへ、トイレも立派なトイレ車をけん引して持ってきている。暑さと、けが人など多発で山城さんの判断で午前11時ごろやむなく撤退した。

私たちの斥候（途中の道の見張り番）によると「機動隊の大型バス（かまぼこ）が確認しただけで28台、その派遣先は品川、福岡、千葉、横浜、なにわ、習志野、愛知など全国12拠点から隊員600名+指揮官数10名が沖縄に集結していた。」との情報です。

沖縄は日本でしょうか？ この国に民主主義はあるのでしょうか？ この国に法律はあるのでしょうか？ 警察官、機動隊員(=公務員)は何のため、誰のためいるのでしょうか？

*琉球処分（琉球新報）

明治政府による琉球藩設置から分島問題の終結までをいう。明治維新にともない、1872（明治5）年、明治政府は〈琉球国〉を廃して〈琉球藩〉とし、廃藩置県に向けて清国との冊封関係・通交を絶ち、明治の年号使用、藩王（国王）自ら上京することなどを再三迫った。が、琉球が従わなかったため、79年3月、処分官、松田道之が**随員・警官・兵あわせて約600人**を従えて来琉、**武力的威圧**のもとで、3月27日に首里城で廃藩置県を布達、首里城明け渡しを命じ、ここに事実上琉球王国は滅び、〈沖縄県〉となる。

4. 高江7月23日 再び高江

辺野古から高江まで車で約一時間かかります。作業ゲート前には警備会社アルソックの人たち、機動隊員が二重、三重に固めていました。その数150名ほど、ゲートから南側100mに大型バス(カマボコ)、関係車両が7、8台エンジンをかけっぱなしでとまっていた。北側も同じくらいの車が停まっていた。そこに1m間隔で機動隊員が並んでいました。まるで警戒令が布かれているように見えます(˘_˘;)。高江村人口150人に機動隊員600~700名+警察官300~400名、これは国対村の戦いかと思います。

34℃を越す暑さと排気ガスでかなり大変です(≥▽≤)

機動隊の車は私が確認しただけで 和泉、なにわ、多摩、品川、足立、練馬、沖縄、柏、千葉、福岡、横浜の12拠点から来ています。また、国会議員の福島瑞穂さんが来て今回の問題点を国会で追求することを約束した。

5. 辺野古7月23日、大浦湾

本日の辺野古ぶるーは高江行きを止めて海に出ることになった。˘_˘

海は本当に美しい。この美しい海を子供達→孫達にズーッと引き継ぐのが今生きている私たちの責任ではないでしょうか？

政府は辺野古新基地に関して、沖縄を提訴し裁判で争うかまえです。昨日の高江同様かなり強硬姿勢でやりそうです(≥▽≤)。管官房長官は「陸上の工事は(和解中でも)問題ない」などの発言をしている。とにかく法律・約束事などこの国には無いとしか思えない。



大浦湾で作業している船を発見！ 辺野古ぶる一のメンバーで抗議をした。

今現在（7月23日）、「和解」が成立しているので海での作業は一切できない。しかし、何でもありのこの国ではそのような約束事を反故にするのは何とも思っていないようだ。

作業船は明らかに潜水調査をしていた。私たちが近づくと沖縄防衛局のゴムボートが3隻警戒に来て、作業船を守り私たちが近寄らないように防御していた。その後、巡視船と思われる大きな船もやってきた。その船から大音響のスピーカーで「危険ですから作業船に近づかないでください」と繰り返し放送している。すなわち自らが作業をしていることを暴露している。



作業船 午前10時15分

6. 報道に関して

沖縄の問題は本土（＝日本：ヤマトウ）ではメディア（新聞、テレビなどで）でほとんど報道されない。例えば高江で民主主義の根幹にかかわる大きな事件があった次の日（7月23日）の新聞、テレビでは何事も無かったように“平和”を演出している。朝日新聞では一面に「ポケモン GO 興奮上陸」だった。民衆が国家権力にとことん蹂躪されているのですよ、、、。（東京新聞など一部地方新聞は健闘している）



○沖縄で感じたことなど

高江ではオスプレイの訓練を50m以下の低空飛行で行う。オスプレイが上空を飛び回り、森の生物たちは轟音と300℃にもなる爆風にさらされる。私が高江に行った時は夜の10時過ぎまで訓練をしていた。今現在ヘリパッドは2ヶ所あり年間1,200回の訓練が行われている。ヘリパッド6ヶ所全部完成したら、年間3,600回も訓練が行われる。子供は眠れなくて遠く離れた名護市などに疎開（避難）している。ハワイではコウモリの保護を理由に訓練が中止になった。沖縄の県民の命はコウモリ以下なのか？本土佐賀県では県民がオスプレイ反対で配備が即中止となった。

沖縄のことをあまり知らない人たちは何で「多勢に無勢、負ける戦いを毎日やっているんだ」と思うかもしれない。私は ①国土の0.6%に74%米軍基地があること ②沖縄の民意がハッキリと基地は要らないと言っていること ③これが1番重要だが1秒でも1分でも基地建設を遅らせた。それが積もり積もって一日、一週間となる。

また、原発なども同じだが、黙っていることは結果として（＝基地建設、原発稼働などに賛成）したことになると思う。

私は戦争につながるすべてのことに加担したくない。人を殺すことも殺されることも拒否したい。